

令和6年 7月～9月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 119事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合計
23	31	28	37	119

調査結果の概要

<全体 ～仕入DIは高水準の悪化が続く、採算性も大きく悪化の状況が続く～>

令和6年第二四半期(前回調査)と同様に、仕入DIが一層大きく悪化しています。

今後の見通し(令和6年10～12月)は、引き続き仕入DIと採算悪化が見込まれています。

<製造業 ～売上DIはプラス水準に、採算DIは回復基調、資金繰りDIは悪化継続～>

売上DIは13.0(前回0.0)、採算DIは▲8.7(前回▲43.5)、資金繰りDIは▲17.4(前回▲17.4)となりました。

今後の見通し(令和6年10～12月)は売上DIは好転減少、採算DIは好転、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

<建設業 ～売上DI・資金繰りDIはプラス水準に回復～>

売上DIは6.5(前回3.2)、採算DIは▲3.2(前回▲9.7)、資金繰りDIは6.5(前回▲9.7)となりました。

今後の見通し(令和6年10～12月)は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは好転減少の見込みにあります。

<卸・小売業 ～全体的に厳しい状況が続く～>

売上DIは▲10.7(前回▲21.4)、採算DIは▲21.4(前回▲39.3)、資金繰りDIは▲28.6(前回▲17.9)となりました。

今後の見通し(令和6年10～12月)は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

<サービス業 ～売上DIはプラマイゼロ水準に、採算DI、資金繰りDIは前回より悪化～>

売上DIは5.4(前回0.0)、採算DIは▲2.7(前回▲16.2)、資金繰りDIは▲2.7(前回▲13.5)となりました。

今後の見通し(令和6年10～12月)は売上DIは悪化、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

<業種別業況>

製造業と卸・小売業・サービス業で仕入れDIがマイナス50ポイント超水準であり、今後の見通しも厳しい状況。

<時系列比較>

売上DIは全体的に好転。

採算DIは全体的に悪化緩和。

資金繰りDIは全体的に悪化緩和。

<業況変化の要因>











民間需要の活性化や販売・受注が増加したことで業績が好転しています。

民間需要の停滞が1位回答の最多となっています。











引き続き仕入れ価格の上昇が業績の悪化に影響を与えています。

～業種別比較表～

○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和5年7月～9月	天気図					
	D I	13.0	-52.2	-8.7	0.0	-17.4
来季（見通し）比較 令和6年月10～12月	天気図					
	D I	-4.3	-43.5	-4.3	-8.7	-13.0











○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和5年7月～9月	天気図					
	D I	6.5	-19.4	-3.2	6.5	6.5
来季（見通し）比較 令和6年10月～12月	天気図					
	D I	22.6	-12.9	16.1	3.2	3.2

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和5年7月～9月	天気図					
	D I	-10.7	-64.3	-21.4	10.7	-28.6
来季（見通し）比較 令和6年10月～12月	天気図					
	D I	-14.3	-39.3	-21.4	3.6	-17.9

○サービス業

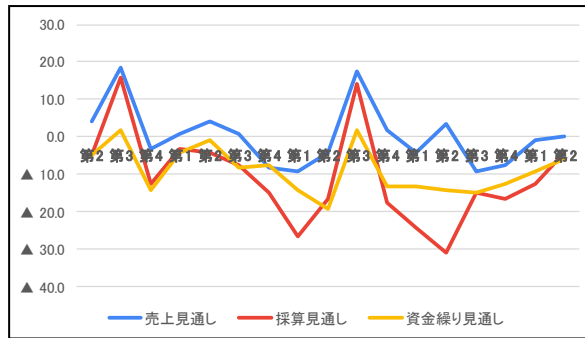
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和5年7月～9月	天気図					
	D I	5.4	-40.5	-2.7	8.1	-2.7
来季（見通し）比較 令和6年10月～12月	天気図					
	D I	-5.4	-27.0	-8.1	0.0	0.0

～天気図の指標～

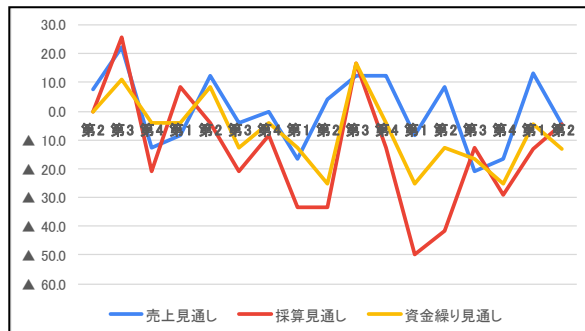
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

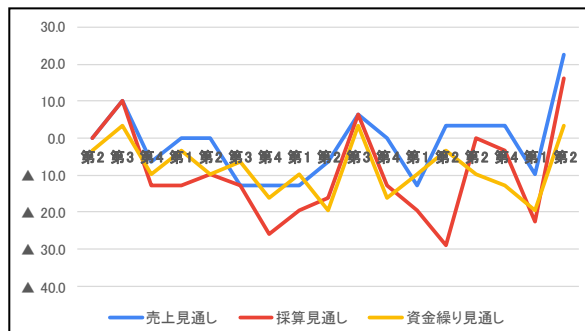
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



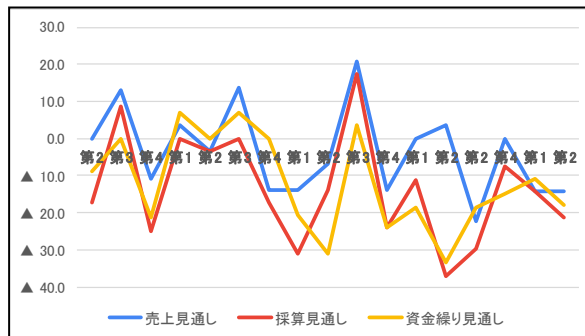
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



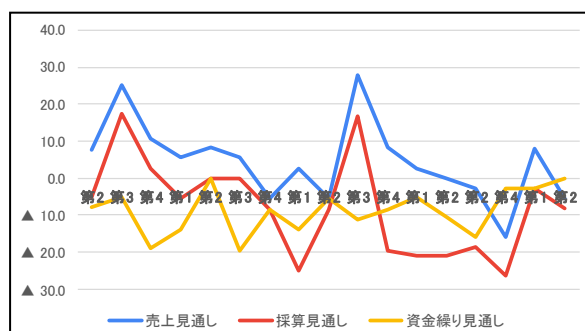
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

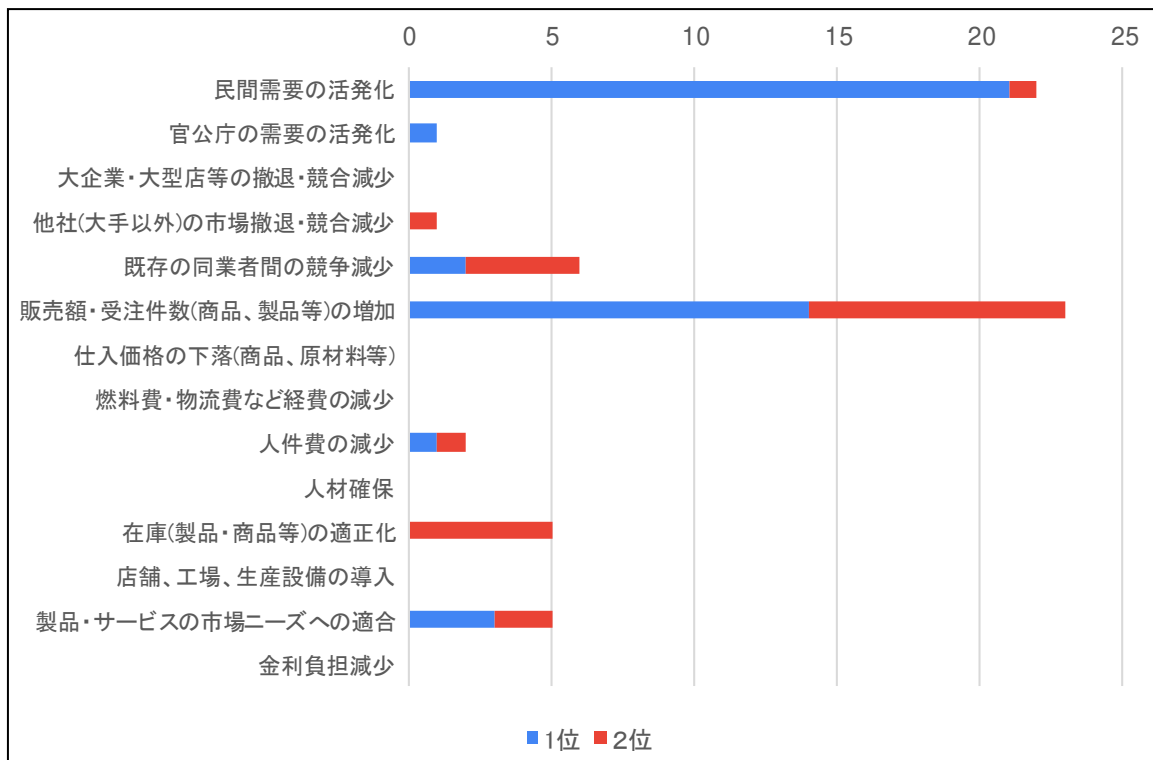


— 売上見通し — 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

民間需要の活性化や販売・受注が増加したことで業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

民間需要の停滞が回答で多くなっています。

引き続き仕入価格の上昇が業績の悪化に影響を与えています。

